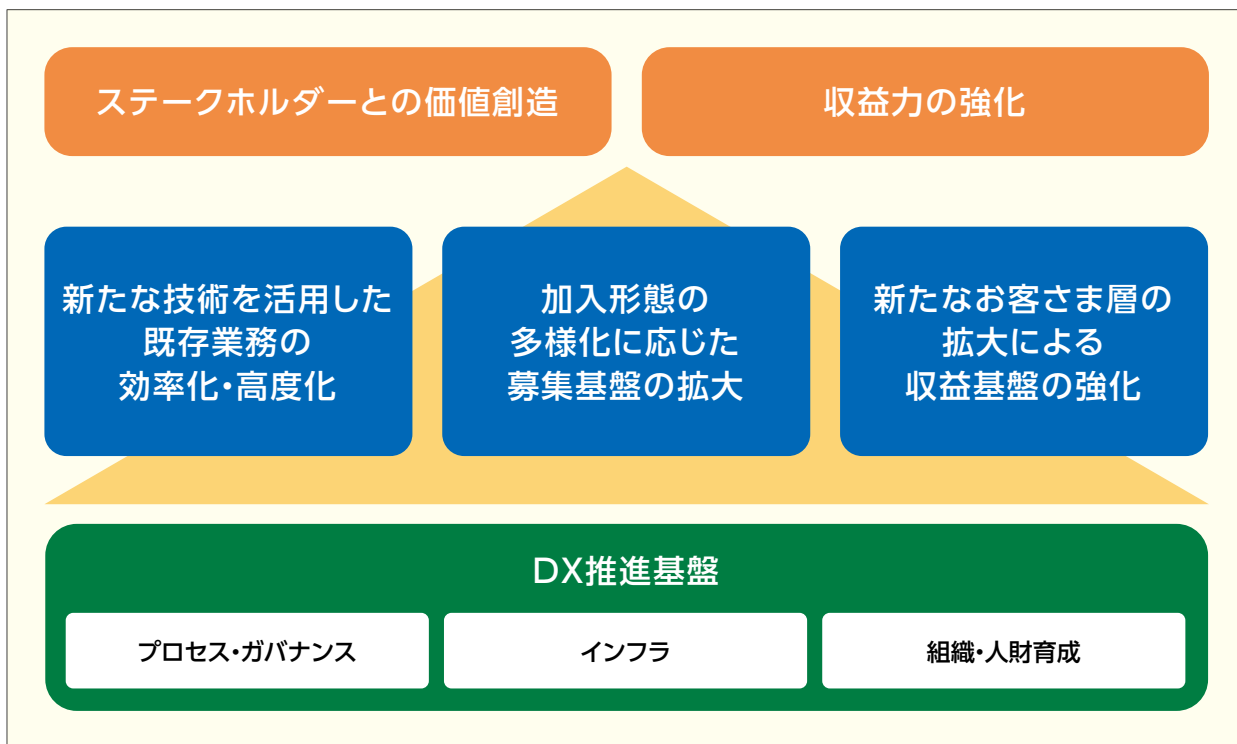


当社では、中期経営計画(2022 - 2025)の重点施策の1つとしてDX(デジタルトランスフォーメーション)を掲げ、当社におけるデジタルイノベーションの全体像および具体的な取組内容を「DX実行計画」として策定しています。

ライフスタイル・ビジネススタイルの変化や社会全体のデジタル化が加速する中、デジタルイノベーション取組みを通じて競争力の強化を図っていきます。

「DX実行計画」の全体像

「ステークホルダーとの価値創造」と「収益力の強化」の実現に向けて、既存業務の効率化や募集基盤・お客さま層の拡大などの各領域でDXの取組みを進めています。



デジタルイノベーション取組み例

仮想空間(メタバース)での金融機関交流会を開催

全国の異なる地域に拠点を置く金融機関の人事部門の担当者を対象に、仮想空間(以下、メタバース*)を会場とした交流会を開催しました。

人財育成や働き方に関する課題や事例をメタバース上で共有し、意見交換をしました。メタバースの特性を活かすことで、従来のWEB会議システムでは難しかった複数人同時の会話など、スムーズなコミュニケーションが実現できました。

*メタバースとは、インターネット上の仮想空間のことです。3次元で構成された仮想空間の中で、自分自身の分身であるキャラクター(アバター)を介して自由に動き回り、他者と交流し様々なことを体験できます。



グループ共有のイメージ



自由交流のイメージ

生成AIを活用した業務効率化の推進

MS&ADインシュアランスグループ各社と定期的に情報交換を行い、生成AIの活用を進めています。文書の作成・要約やデータ分析を目的とした利用に加え、規程・マニュアルなどの社内情報を参照して問い合わせに回答するAIチャットツールの試験導入に取り組んでいます。

また、当社固有のビジネス領域における業務の効率化に向けて、技術や製品の調査・検証を進めています。検証によって有効性を確認できたものから順次導入していきます。

『AHARA(アハラ)』でロボット・アドバイザーサービスの提供を開始

「資産形成にあたり、特別勘定(ファンド)をどのように配分すればよいか参考情報が欲しい」というお客さまニーズにお応えするために、『AHARA(アハラ)』^{※1}のWEBサイトで2024年3月よりロボット・アドバイザーサービス^{※2}(以下「ロボアドサービス」)の提供を開始しました。本サービスは、どなたでも無料でご利用いただくことができます。

また、スマートフォン完結型の変額年金保険『AHARA(アハラ)』^{※1}をご契約中のお客さまは、ロボアドサービスを設定いただくことで、お客さまのリスク許容度に応じた最新のポートフォリオへ自動的に積立金移転(スイッチング)ができ、この取扱いは日本初^{※3}となります。

※1『AHARA(アハラ)』は、株式会社みんなの銀行が提供するAPIを活用し、全ての手続きをスマートフォンで完結できる資産形成・運用型の生命保険商品です。

※2ロボット・アドバイザーは金融テクノロジーの1つで、一般的には企業等が開発したアルゴリズムによってお客さまの「リスク許容度(資産状況や運用方針など)」に合わせた投資先等の資産形成アドバイスを受けられるシステムです。

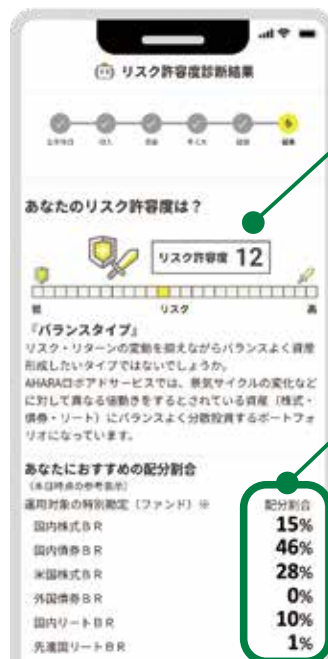
※3ロボアドサービスを使って特別勘定のポートフォリオを見直し、自動的に積立金移転(スイッチング)をする機能は日本初となります(2024年2月末時点。三井住友海上プライマリー生命保険調べ)。

■リスク許容度診断およびポートフォリオの参考提示(どなたでもご利用できるサービス)

以下の5つの質問に回答することで、お客さまのリスク許容度を25段階で診断し、推奨される特別勘定(ファンド)のポートフォリオを参考提示します。

- ①生年月日
- ②見込み収入
- ③保有している金融資産
- ④資産形成に関する考え方
- ⑤資産運用のご経験

<診断結果・ポートフォリオの参考提示の例>



リスク許容度を1~25(低~高)で表示します。

- ・リスク許容度に応じたポートフォリオが参考提示されます。
- ・参考提示された情報で保険加入のお申し込み手続きに進むことも可能です。

*画像はイメージです。

■ロボアドによるリアロケーション

(『AHARA(アハラ)』にご契約中のお客さまがご利用できるサービス)

マイページからロボアドサービスにお申込み・設定いただくことで、毎月の契約応当日の翌営業日(毎月の契約応当日が非営業日の場合は、翌々営業日)にリスク許容度に応じた最新のポートフォリオに積立金移転(スイッチング)ができます。